

本年度、F U N 拡大広報委員会では、会員拡大と広報活動と並行して 4 つの事業を展開してまいりました。

5 月には「わんぱく相撲浦安場所」を開催、また 7 月には日本青年会議所が主催するサマーコンファレンスに例会として参加、日本青年会議所の運動の発信する場に多くの L O M メンバーが参加し、青年会議所としての運動を理解し地域へ持ち帰れるよう様々なフォーラムやセミナーを受けてまいりました。

そして本年の主となる事業、寄付金機能付浦安市指定のごみ袋の作成を手がけました。希薄化しつつある利他の心を市民に醸成すべく、NothingButNets キャンペーンに賛同し、自動販売機やコピー機に続き、ごみ袋という新たな手法を確立することができました。

行政との折衝では前例のないことを行うという意味で何度も頓挫しそうになりながらも話し合いを重ね、ようやく認可を得ることが出来ました。メーカーとの調整を経て、試作品の完成までにはかなりの時間を要してしまいましたが、サマーコンファレンス内で多数の青年会議所メンバーへ NothingButNets の新たな手法としてブース出展 P R 活動ができました。10 月には第 62 回全国大会 奈良大会での AwardsJapan2013 で浦安青年会議所の歴史のなかでも初の快挙となる、国際貢献部門での優秀賞、また会頭特別賞の W 受賞を果たしました。この手法が今後ほかの地域へ伝播し、多くの利他の心が醸成される事業となることを願います。

広報活動においてはフェイスブックなどの S N S を用いて速報性のある広報や地域新聞やフリーペーパーなどの定期掲載で継続的な広報を展開し、市民に対しての認知向上が図れたと思います。

拡大に関しては 20 名の目標を掲げてきましたが達成することが出来ませんでした。従来の一本釣りの手法から、広報ツールを拡大に繋げていく部分に頼りすぎてしまったところが大きかったと思います。

当委員会のメンバーは新入会員の出向にて構成された委員会でありました。ほとんどの事に対して初めて経験することが多く、その中でメンバーをまとめ上げることがうまく出来ず、委員会メンバーに迷惑をかけてしまったことは心残りです。次年度も委員長の役職を頂きましたので本年度を教訓に次年度に活かしていきたいと思います。

最後に 1 年間、当委員会に関わったすべてのメンバーに対し厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。